



photo / 二葉乳児院の子育てひろば



2012年号外

二葉とこども

発行元：社会福祉法人 二葉保育園「二葉支援の会」
発行日：2012年12月

移転まであと半年！

二葉南元保育園

園長 工藤 有子

二葉南元保育園は、来年6月に四谷駅前の旧四谷第三小を仮園舎とし、移転予定です。10月に父母の会主催のコンサートがありましたが、役員の保護者の方も、ここ（現園舎）が会場となるのも最後ですね、と名残惜しいお気持ちでいっぱいのようでした。

新園舎の基本設計ができ、2階からのスロープはなくなる構造になります。今お散歩のときに上がり降りしている姿もあと半年限りです。新園舎・仮園舎には2階から避難滑り台がつく予定で、避難訓練の方法も現在検討中です。

0歳児は、スロープがなくなるので、担任以外の職員も0歳児室に駆けつけ、素早くおんぶして屋内の階段を下りて

くるという方法を試しています。先日は、広域避難場所となる神宮外苑までおんぶと避難車で避難訓練を行いました。

仮園舎での生活も一時期だけとはいえ、子どもたちにとっては貴重な時間を過ごす場所。そこで保育も子どもたちが楽しく安全に過ごせるよう、仮園舎検討プロジェクトを立ち上げ、準備しているところです。文化財保護のための試掘費用や新園舎の快適性と資金のやりくり、現園舎とのお別れをどうしたらよいか、引っ越しなど等、その他検討事項は山盛りですが、まずは現園舎で最後のクリスマス祝会が子どもたちや保護者にとって素晴らしい思い出になるように、改築のことで保育に支障のないように、と職員たちが頑張っています。

改築を迎えた二葉学園から

二葉学園 主任 小林 治

平成24年9月16日に二葉学園本園の「もくせい」、「さくら」、「もみじ」の各ホーム、9月17日に本園機能部分（事務所や専門職デスク等）の引越しを職員と児童で行いました。引越し業者を使わなかったので、一日だけでは終わらないことを見越して各ホームの物件（もくせい：分倍河原、さくら：西調布、もみじ：つつじが丘）を早々に借りて徐々に荷物の搬入を行い、引越し当日に備えました。

各ホームの児童、特に高齢児においては一緒に引越し作業を行うことができて職員としても助かっていたと思います。



生活をしながらの引越しだったので、準備に手間取った面もありましたが、当日は無事に引越しを終えられたことにほっとしました。

しかし、引越しを行った後の整

理が大変だったと職員からは話が出ていました。作業の後は各職員が協力してそれぞれの児童が生活しやすいように試行錯誤しながら、ホームの形を徐々に作り上げ生活を軌道に乗せてきています。



本園仮園舎に関しても今までの本園機能を維持させるために、2つの心理室、事務室、職員室、応接室、会議室、打ち合わせ室、書庫等多少の使いにくさはある中でもなんとか職員が協力して働きやすいようにセッティングしました。

児童にとっては、電車での登校や本園仮園舎へ来る時に遠くなってしまい不便をかけてはいるとは思いますが、新しくできる本園に期待を持ちつつ今の生活を約1年間ですが職員・児童が協力して乗り切っていこうと頑張っています。

地域デビューを応援します

二葉乳児院併設 地域子育て支援センター二葉 地域活動ワーカー 大矢 裕子

「産院を退院する時、我が子を見護師さんから渡された瞬間不安を感じました。」「今日初めて大人と話をしました。」「この子さえいなければって思っちゃう自分が嫌です。」
(ひろばのお母さんたちの声より)

今日、子育ての孤立感は強いものがあります。「公園デビュー」という言葉は過去になり、現在は「ひろばデビュー」という言葉が使われます。小さな子どもを持つ親子が安心・安全に集える環境として子育てひろばは地域にとってなくてはならない事業となっています。

私たちは子育て中の親子に寄り添い、「子育てが楽しい！」

と思えるよう、一緒に育児を行おうとしています。

子どもは地域の中で育つと言いますが、ひろばデビューをすることは地域とつながる第一歩です。来年10周年を迎えるひろばはこれまでに約2900組のデビューを応援してきました。今後とも孤立感を抱える子育て中の親子が地域と繋がる最初の一歩を踏み出す場として活動をつづけてまいります。

地域子育て支援センター二葉で行っている事業

- ☆ 親と子のひろばの運営
- ☆ 一時保育
- ☆ ショートステイ（泊りを伴う保育）
- ☆ 家庭訪問型子育て支援（ホーム・スタート）

園庭改造プロジェクト

二葉くすのき保育園 主任 酒井奈美江

新宿旭町から調布に移転して早35年。6年前に園舎の大規模修繕工事を行ない、園庭も花壇・畑に関してはボランティアの方々と豊かなものを作りつつありますが、子どもたちが毎日走り回る園庭空間は「検討課題」状態のままでした。石ころなどが目立ち、安全面からも土の入れ替えが必要なのでは?!と、今年4月より「園庭改造プロジェクト」を園内に立ち上げ検討を重ねています。

子どもたちの成長発達、運動発達を促していくためには、どんな園庭にしたら良いか?今の時代の子どもたちには何が必要なのだろうか?豊かな花壇や畑をもっと進めていくには?意見を出し合うことからスタートし、現在は業者さんとの協議を進めているところです。私たちの願いを受けとめて、様々な斬新なアイディアが提案され、それは面白いけれど危険は?広さは?子どもの生活の中での動線は?と検証したり、だめだししたり。自分たちの保育を見直す



良い機会でもあるので、じっくり話し合い「子どもたちにとってよりよい環境」をひとつひとつ作っていきたいと思います。

社会福祉法人二葉保育園では、施設の改築や子どもたちの養育、法人運営のサポートをするために「二葉支援の会」という後援会を運営し、ご支援下さる方から資金をお寄せ頂いております。

同会に入会をご希望の方は、年会費5,000円をお振込の上、法人本部までご連絡下さい。

また、ご寄付をいただけることも大歓迎です。ご理解とご支援を心よりお待ちしております。

* 当法人への会費、寄付は社会福祉事業への寄付として寄付金控除の対象となり、確定申告の際に減税措置を受けられます。

郵便振替 ▶ 口座番号: 00120-2-30321 口座名義: 社会福祉法人二葉保育園

銀行振込 ▶ 三菱東京 UFJ銀行 支店名: 四谷支店 口座番号: 普通 0506208 口座名義: 社会福祉法人二葉保育園 理事長 遠藤久江
クレジットカード ▶ 社会福祉法人二葉保育園ホームページより来年1月からお手続頂けるように準備を進めております。



社会福祉法人 二葉保育園 概要

法人本部

所在地: 〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

TEL: 03-3341-1205 / FAX: 03-5368-1969

設立: 1900年(明治33年)

理事長: 遠藤久江

常務理事: 武藤素明

理事: 河津英彦、網野武博、押切重洋、福田敏朗

監事: 園武友、乾川日出夫

二葉乳児院

院長: 都留和光

児童定員 40名 職員 51名

住所: 〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

TEL: 03-3359-4578 / FAX: 03-3359-4596

二葉学園

統括園長 武藤素明 園長 小倉要

児童定員 52名 職員 51名

住所 本園:

〒182-0035 東京都調布市上石原2-17-7

TEL: 042-482-2578 / FAX: 042-480-5200

二葉南元保育園

園長 工藤有子

児童定員 61名 職員 25名

住所: 〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

TEL: 03-3351-3819 / FAX: 03-3351-3819

改築への歩み

二葉むさしが丘学園 主任 今村 摂

むさしが丘学園は昭和51年の竣工以来37年が経過し、私たちが民間委譲にて運営を移管された時、既に35年の月日が経ち、建物の改築は目前の状態でした。建物は幾度となく手が入れられ表面的にはきれいですが設備を含め至る所に問題を抱えており、やはり37年の経過は否めません。

平成22年4月からこの間に二葉むさしが丘学園の改築に際して東京都と協議を重ねてきましたが、土地・建物ともに東京都の財産であり都有財産の改築が初めてのケースとなることから様々な問題が多い事にも直面しています。さらに改築は多額の資金が必要となります、開設間もない「二葉むさしが丘学園」としては通常施設が何十年もかかる改築資金の積み立てをするのに比べ、その時間がありません。かといって資金に合わせて改築をすることも出来ない状況です。法人も最大限のバックアップをして臨むことになりますが多額の資金を必要とする建替え、世の中は決して景気が良いとは言い難いなかで一施設、一法人の力だけではなしえない状況に一人でも多く方からのご協力を頂き、子どもたちのより良い生活環境を確保するため力をお貸しいただけないかと望むしたいです。

二葉むさしが丘学園は只今3歳。やっと一人歩きを始めたばかり。関係機関、地域、支援者、職員をはじめ一人でも多くの方に関わりを持ってこの先の成長を確認して頂ければと思います。



二葉くすのき保育園

園長 八木澤真理子

児童定員 100名 職員 35名

住所: 〒182-0022 東京都調布市国領町3-8-15

都営くすのきアパート1号

TEL: 042-487-8309 / FAX: 042-487-8309

二葉むさしが丘学園

統括園長 武藤素明 園長 黒田邦夫

児童定員 66名 (グループホーム6名含)

職員 45名

住所 本園:

〒187-0011 東京都小平市鈴木町1-62-1

TEL: 042-344-9911 / FAX: 042-345-7836